

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名【新】国際園芸アカデミー20周年記念事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,098 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,098	0	0	0	0	0	0	0	10,098
決定額	4,211	0	0	0	0	0	0	0	4,211

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成16年の岐阜県立国際園芸アカデミーの設立から、令和6年度に20周年を迎える。県立国際園芸アカデミーの活動を総括し、対外的に成果をPRすることで、今後の優秀な入学者確保や卒業後の進路選択の幅を広げ、人材育成機能の強化及び花き産業界への貢献度を高める。

(2) 事業内容

20周年記念行事として次の事項を開催する。

- ①サテライト施設の開所式
- ②20周年記念事業(記念講演、特別講義等)
- ③卒業生のネットワーク強化のためのホームページ改修

(3) 県負担・補助率の考え方

県立国際園芸アカデミーの運営に関わることのため、県において全額負担することが妥当。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,300	講演者謝礼
旅費	107	講演者費用弁償
需用費	990	記念品等
使用料	199	記念式典会場
委託料	7,460	記念式典、オープニングセレモニー
役務費	42	通信費
合計	10,098	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業・農村基本計画 (令和3年度～7年度)
- ・清流の国ぎふ花き振興計画 (令和3年度～7年度)

(2) 国・他県の状況

無し

(3) 後年度の財政負担

無し

(4) 事業主体及びその妥当性

県立国際園芸アカデミーの人材育成機能を強化するためには、県が実施主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・県立国際園芸アカデミーのこれまでの活動を総括・検証し、節目となる20周年に記念行事（記念講演、特別講義等）を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

- ・記念事業の実施であり、客観的な達成指標を設定できないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <hr/> 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <hr/> 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <hr/> 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	